（様式１）

【事業育成型】

令和５年　月　日

国土交通大臣　殿

**令和５年度　住まい環境整備モデル事業**

（人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業）

**提案申請書　＜事業育成型＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 提案事業の名称  ＊40文字以内で記入 |  |

＊40文字を超えた場合、提案申請書の提出し直しを求める場合があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （代表提案者） | 提案団体名 |  |
| 代表者氏名 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （共同提案者） | 提案団体名 |  |
| 代表者氏名 |  |
| （共同提案者） | 提案団体名 |  |
| 代表者氏名 |  |

（様式１）

【事業育成型】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 共通要件の確認  ＊全要件に、「　✔　」を記入。  記入できない場合は申請することができません。 |  | ①高齢者等の居住の安定確保及び健康の維持・増進に資する住まいづくり・まちづくりの推進上効果を高めるための情報公開を行うものであること |
|  | ②新たな技術やシステムの導入（住まいづくりまたはまちづくりに関連しない医療・介護・福祉  に関する機器の開発・導入を除く）または多様な世帯の互助や交流の促進に資するもの  であること |
|  | ③新築住宅の立地は、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第９条第１項に規定する土砂災害特別警戒区域に原則該当しないこと（ただし、令和３年度までに事業採択または事業（設計）着手した場合等を除く） |
|  | ④「立地適正化計画区域内の居住誘導区域外」かつ「災害レッドゾーン（災害危険区域、地すべり防止区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域又は浸水被害防止区域）内」で建設された住宅のうち、３戸以上のもので、都市再生特別措置法に基づき立地を適正なものとするために行われた市町村長の勧告に従わなかった旨の公表にかかるものに原則該当しないこと（ただし、令和4年度までに事業採択、事業（設計）に着手している場合を除く） |
|  | ⑤住宅・施設の新築を行う場合は、原則として建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第２条第１項第三号に規定する建築物エネルギー消費性能基準へ適合すること（ただし、令和３年度までに事業採択または事業（設計）着手した場合等を除く） |
|  | ⑥階数が２階建て以下、かつ、床面積が500㎡以下の木造のZEHを整備する場合には、以下のA～Cのいずれかの住宅に限り、事業の対象とする。（ただし、令和4年度までに事業採択、事業（設計）に着手している場合を除く）  A 構造計算により構造安全性が確かめられた住宅  B 木造建築物における省エネ化等による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準（案）又は政省令・告示等公布（令和５年秋頃予定）後の壁量等の基準により構造安全性が確かめられた住宅  C 現行の住宅性能表示制度における耐震等級３を満たす住宅 |
|  | ⑦令和５年度中に事業着手するものであること |

（様式２－１）

【事業育成型】

**提　案　内　容**

提案内容は、「募集要領」の「3.1.3.評価の視点」の①～⑦に基づき、総合的に評価します。

**評価の視点を踏まえて簡潔に記入**してください。別添「**記入要領」の注意点を必ず参照してください**。

**１．事業実施場所**　　　＊様式２[参考資料]①に、事業実施所の位置図を添付してください。

**２．対象者属性**　　　＊最も重視する対象者：●、重視する対象者：○を記入してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 高齢者 |  | 子育て世帯 |  | 左記以外の対象者 | ＜「左記以外の対象者」を自由記入＞ |
|  | 障害者 |  | 多世代 |  |

**３．事業の課題設定**＊募集要領「3.1.3評価の視点　①課題設定と解決方策の適切さ」を踏まえて記入してください。

**４．本提案事業の内容**

**（１）設定した課題への解決方策（提案事業のポイント）**

＊募集要領「3.1.3評価の視点　①課題設定と解決方策の適切さ」を踏まえて記入してください。

**（２）上記（１）を実現するための本提案事業（事業育成型）での取組内容**

（様式２－２）

【事業育成型】

**（３）具体的な提案事業の内容（補助要望内容）**

**１）技術の検証**　　　＊実施項目は、様式５及び６－１と整合させて記入。表の行が不足する場合、適宜行を増やしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | 技術・システムの特徴と本提案事業への活用の効果（作業仮説） | 技術検証  したい内容 | 技術検証のための調査方法 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

**２）情報提供及び普及**　　　＊実施項目は、様式５及び６－１と整合させて記入。表の行が不足する場合、適宜行を増やしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施項目 | 具体的な内容 | 目的（提案事業にどのように役立てるか） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

（様式２－３）

【事業育成型】

**５．モデル事業としての先導性・創意工夫の内容**＊募集要領「3.1.3評価の視点　②先導性・創意工夫」を踏まえて記入してください。

**①提案内容の先導性・創意工夫について**

本提案内容の検討にあたり、先行事例や既往研究を収集・レビューした内容について記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 先行事例・既往研究名 | レビューした内容 | 左記のレビューした結果を踏まえた  本提案の先導性・創意工夫について |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**②建築・空間計画のモデル性・工夫点について**

本提案の建築・空間計画において参考に役立てた先行事例（住宅・施設等）を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 参考にした先行事例 | 参考にした内容 | 左記の先行事例と比べた  本提案のモデル性・工夫点について |
|  |  |  |
|  |  |  |

（様式２－４）

【事業育成型】

**６．モデル事業としての効果・位置づけ（波及効果・普及可能性、多様な事業効果、支援の妥当性）**

事業育成型完了後、「課題設定型」又は「事業者提案型」で行う事業内容を念頭に記入してください。

**①本提案を通じた事業効果、効果の検証方法**

**●本提案事業を通じて、対象地域、対象属性等に対して、期待される事業効果について**

**●上記の事業効果を検証するための方法**＊定量的な目的の設定、評価指標の設定等の具体的な内容等を記入してください。

**②本提案事業の波及可能性・普及可能性等の効果**

（様式２[参考資料]①）

【事業育成型】

**提案事業関連図面等**

|  |
| --- |
| **事業実施場所の位置図** |
| ※対象敷地周辺の市街地状況、鉄道駅との位置関係、公共公益施設等の立地状況を把握できる図面  （対象敷地から半径500ｍ～１km程度の範囲を想定） |
| **当該事業完了後、課題設定型、または事業者提案型で提案することを想定し、**  **既に計画敷地等がある場合、対象敷地・建物の現状、周辺との関係がわかる写真等** |
| ※敷地の現状がわかる写真（周辺建物や接道道路等の関係がわかる写真）  ※改修前の現状の図面、写真（建物外観、建物内部、周辺建物関係がわかる写真） |

（様式３－１）

【事業育成型】

**事業の実施体制等**

**１．事業実施体制**

代表提案者、共同提案者、提案事業に関係する主体（例えば地域住民、NPO団体、関連事業者（併設事業所等）建物の家主等）、地方公共団体等との関係等、本モデル事業の実施・推進体制について、主体の関係性（委託関係、賃貸借、売買等）を明確に記してください。

＊募集要領「3.1.3評価の視点　③総合的・継続的な推進体制　⑥地方公共団体との連携等」を踏まえて記入してください。

|  |
| --- |
|  |

**２．地方公共団体等との協議・調整状況・予定**

＊募集要領「3.1.3評価の視点」の「⑥地方公共団体との連携等」を踏まえて記入してください。

地方公共団体（住宅部局・福祉部局）、UR都市機構、公社等、本提案事業を実施する上で協議・調整が必要である団体との連携に向けた協議・調整状況・予定を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 協議・調整している主体 | 担当窓口 | 協議・調整している内容 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**３．入居者（利用者）の特性を踏まえた連携主体等**

入居者（利用者）の特性を踏まえ、どのような専門家等と連携し、どのような取組や支援を行う必要があると考えますか。また、その連携体制の現時点での確立状況を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 連携が必要な専門家 |  |
| 専門家等と連携した必要な取組・支援内容 |  |
| 専門家等との連携体制の確立状況 |  |

（様式３－２）

【事業育成型】

**４．代表提案者・共同提案者等の概要**＊特に「連絡担当者」の誤記には注意してください。評価事務局との連絡を行う担当者です。

**（１）代表提案者**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 団体概要 | 法人等団体名 | | フリガナ |  |
|  |  |
| 役職名 | | |  |
| 代表者氏名 | | |  |
| 業種 | | |  |
| 住所 | | |  |
| 電話番号 | | |  |
| 団体のホームページ（URL） | | |  |
| 連絡担当者 | 所属・役職名 | | |  |
| 氏名 | フリガナ | |  |
|  | |  |
| 電話番号 | | |  |
| メールアドレス | | |  |

**（２）共同提案者**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 共同提案者① | 法人等団体名 | | フリガナ |  |
|  |  |
| 役職名 | | |  |
| 代表者氏名 | | |  |
| 業種 | | |  |
| 住所 | | |  |
| 電話番号 | | |  |
| 団体のホームページ（URL） | | |  |
| 共同提案者② | 法人等団体名 | フリガナ | |  |
|  | |  |
| 役職名 | | |  |
| 代表者氏名 | | |  |
| 業種 | | |  |
| 住所 | | |  |
| 電話番号 | | |  |
| 団体のホームページ（URL） | | |  |

（様式３－３）

【事業育成型】

**５．類似実績（代表提案者・共同提案者）**＊様式３―２に記入した提案者毎に直近類似実績を記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 事業名称等 | 事業期間 | 事業概要 | URL |
| 代表提案者 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 共同提案者① |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 共同提案者② |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

（様式４）

【事業育成型】

**「課題設定型」又は「事業者提案型」として提案する計画**

事業育成型は、「課題設定型」又は「事業者提案型」に掲げる事業を実現するために必要な調査・検討等の準備を目的とします。そのため原則として、事業完了後に、「課題設定型」又は「事業者提案型」として提案するものとします。

現時点で、「課題設定型」、又は「事業者提案型」として提案する予定等について記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 「課題設定型」又は「事業者提案型」に取り組む前段で、「事業育成型」を行うメリットや効果 | |  |
| 「課題設定型」又は「事業者提案型」として提案する計画 | 「課題設定型」又は「事業者提案型」として提案するための条件 |  |
| 「課題設定型」又は「事業者提案型」として提案する時期の見込み |  |
| 住宅等整備着手する時期の見込み |  |